

「絶対に面白い化学入門 世界史は化学でできている」 左巻 健男 著 ダイヤモンド社
2021年2月発行

私がおすすめる一冊、「世界史は化学でできている」を紹介します。

この本は、歴史と化学という、一見全く異なる分野を結びつけ、私たちが当たり前と思っている歴史の出来事の裏側には、実は化学が深く関わっていることを明かしてくれます。

歴史は化学でできている？

ビールがなぜ泡立つのか、ワインがなぜ赤くなるのか、薬がなぜ効くのか。これらの身近な疑問は、実は化学反応によって説明できるのです。この本では、火の発見から、古代文明の興亡、そして現代の科学技術に至るまで、化学がどのように人類の歴史を形作ってきたのか（化学の光と闇）を、わかりやすく解説してくれます。

なぜこの本を読むべきか？

- **教養が広がる：** 歴史の教科書だけでは学べない、化学物質がもたらした社会の変化や、科学者たちのドラマチックな物語を知ることができます。
- **化学がもっと楽しくなる：** 化学の知識がなくても楽しめるように、平易な言葉で書かれており、図やイラストも豊富なので、化学が苦手な人でも気軽に読めます。
- **未来を考えるきっかけになる：** 化学が私たちの生活にどれほど深く関わっているかを知り、科学の進歩が人類の未来をどのように変えていくのかを考えるきっかけになります。

この本を読むことで、あなたは歴史に対する興味が深まるだけでなく、身の回りのあらゆるものに隠された化学の面白さに気づくでしょう。そして、化学という学問が、私たちの生活を豊かにし、未来を形作る上でいかに重要な役割を果たしているのかを深く理解できるはずです。この本を通して、あなたはきっと、化学という学問に対する新たな興味と、世界を見る目が変わるはずです。ぜひ一度、手に取ってみてください。

ちなみに、著者の左巻先生は科学リテラシーの育成を阻むニセ科学についても研究対象とし、ニセ科学の拡散に警鐘を鳴らしています。それらに関する本も面白いので興味のある方はぜひ読んでみてください。